

「今、ここ」から

3月7日、令和四年度の本校卒業証書授与式を厳粛な雰囲気の中、執り行うことができました。生徒、教職員のマスクなし参加を基本とした卒業式は、卒業生が放つ未来への希望とコロナの終息の明るい兆しがリンクし、大変晴れやかな儀式となりました

【卒業式式辞から】

輝かしい
将来が待っ
ている皆さん
に伝えたいこ
とは一つで
す。自分らし
さを発揮でき



るプロフェッショナルをめざし、一日一日を大切に、努力を積み重ねてほしいということです。皆さんは一千時間の法則というものがあることを知っていますか。一千時間というのは、中学校の一年間の授業の総時間数とほぼ同じです。一日1時間であれば3年、一日3時間であれば1年で一千時間になります。ものごとに対して一千時間取り組みれば、どんなことでもある程度のところまでは身に付くようになるという法則です。さらに一万時間の法則というものがあります。これは、何かを極めようとした時に要する時間だと言われています。シャリ炊き3年、合わせ5年、握り一生といわれる寿司屋の修業は約十年です。寿司屋として一人前になるには、義務教育よりも長い期間が必要になるのです。何かを極め、プロと言われるまでになるには長い年月と弛まぬ努力が必要です。簡単に手に入れることはできないからこそプロフェッショナルなのです。はじめる前からあきらめていたり、中途半端に投げ出していたりしては、身に付くことも身に付きません。皆さんの人生には無限の可能性が秘められてい

ると同時に、幾多の困難や乗り越えなければならぬ壁が繰り返す目の前に現れます。それが生きているという証です。必ずや自分の命を守り切る。決してあきらめることのない強い意志をもち続けるということ。そして、「今、ここ」に生きるということに集中すること。この三つが皆さんの未来を輝



かせます。過去や未来は、今どう生きているかによって彩られます。一千時間、一万時間のはじまりは「今、ここ」からです。自分らしさを発揮できるプロフェッショナルの道への第一歩を、「今、ここ」から踏み出してください。

「自主と創造」への挑戦

令和5年度
の前期生
徒会役員選
挙には、19
名もの生徒
が立候補し、
16日に立会



演説会及び投票が行われました。全校生徒を前にして、願う学校や生徒会の在り方について、堂々と熱く語る候補者の姿に、誰が当選、信任されても、令和5年度の学校経営のテーマとして掲げた「自主と創造」にふさわしいリーダーが誕生すること、そして西可児中学校の生徒会がさらにパワーアップ、ブラッシュアップされることを確信しました。大きな期待をもって令和4年度を締めくくれることに喜びを感じています。支えていただいた保護者、地域の方に心より感謝申し上げます。

校長 太田 紀宏